

[概略]

歯冠形態は口腔、咀嚼系に影響を及ぼし下顎の運動経路や咀嚼機能に関する情報が凝集されている。

私の考える理想的な咬合関係は、1級咬合の1歯対2歯としている。1級咬合を理解して、日常の臨床に応用する技術を学ぶ。

近年は歯科技工のデジタル化による CAD/CAM が導入されているが、最終的には臨床経験の豊富な歯科技工士が行うことで個々の口腔内に適応するような補綴装置の製作を目的とする。

榊原 功二